

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 7 月 28 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒 060-8705 札幌市中央区北1条西8丁目1-1
氏 名	札幌テレビ放送株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 小山 章司
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		38放送業												
事業の規模	従業員数	600		人	原油換算した		1,019		kl					
	使用床面積	204874.175		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	13	事業所	自動車使用台数		18		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂ 2,470 t-CO ₂	メタン t-CO ₂	N ₂ O t-CO ₂	HFC t-CO ₂	非エネルギー起源CO ₂ t-CO ₂	PFC t-CO ₂	SF ₆ t-CO ₂	NF ₃ t-CO ₂					
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項						
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☐ 第 1 項 ☐ 第 2 項						
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☐ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

私達は、地球環境問題を当事者と考え、事業活動における環境への負荷の低減に心掛けます。そして、持続可能な社会への実現と地域社会への貢献を目指します。特に地球温暖化の防止(二酸化炭素の削減)に関する事項を重点的に取り組み、社員一人一人が環境問題の対応を認識し、事業活動のあらゆる場面で考慮していきます。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

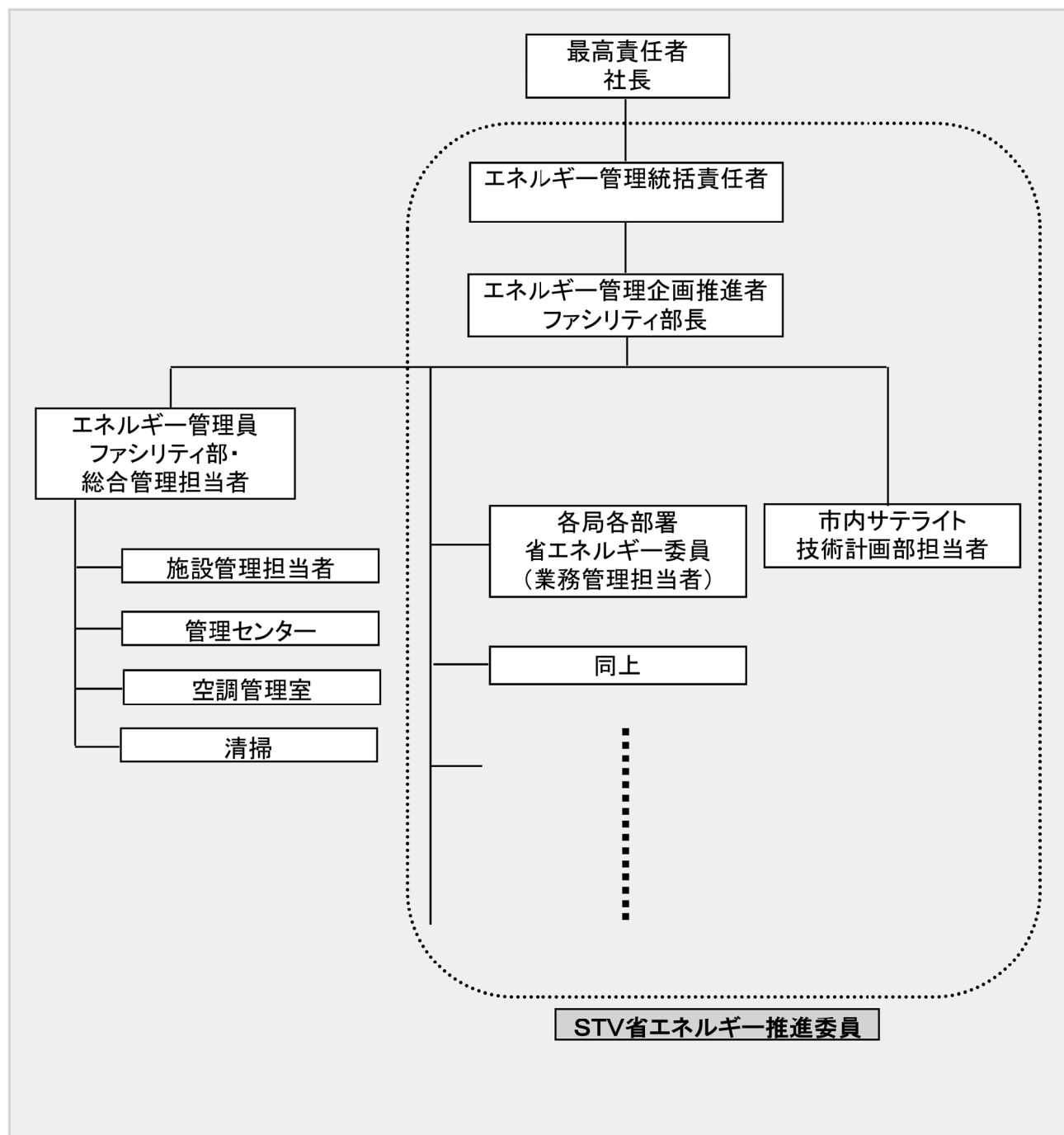
行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	2640000	kg	3 %	2560000	kg	2024年度実績	電力、都市ガス、A重油
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	48500	kg	3 %	47000	kg	2024年度実績	ガソリン、軽油
			%				
			%				
			%				
			%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
削減事業 炭素排出量の二	昼休みおよび残業時の不要な照明の消灯を行う。	各部署	全員			
	夜間、早朝の人のいない事務所などの消灯を行う。	各部署 ファシリティ部	全員 管理センター			
	放送会館、アネックスの夜間外部照明を管理する。	ファシリティ部	総務部 看板担当者			
	退社時にテレビ、ビデオの電源をOFFにする。	各部署 ファシリティ部	全員 管理センター			
	直上階、直下階へはエレベーターではなく、階段を使用する。	各部署	全員			
	〈原則として〉冷房28℃、暖房22℃の温度設定とする。	各部署 ファシリティ部	全員 空調管理室			
	電力のデマンド制御を行い、ピークカットする。	ファシリティ部 技術計画部	空調管理室 担当者			
	夜間、早朝の不要な冷暖房をOFFにする。	各部署 ファシリティ部	全員 空調管理室			
	ロードヒーティングの効率的な運用。敢えて手動運転とする。	ファシリティ部	管理センター 空調管理室			
	給湯の設定温度を見直し、また夜間の運転を止める。	ファシリティ部	空調管理室			
	パソコンを省エネモードにする。	各部署 ファシリティ部	全員			
量う自 等二動 の酸車 削減の 炭素使 素用排 出に伴	アイドリングストップを社内に徹底させる。	各部署 ファシリティ部	全員 車両管理室			
	ECODライブを推進し、社内啓蒙活動を行う。	ファシリティ部	担当者 車両管理室			
	車両の適正な管理を行う。	ファシリティ部	車両管理室			
	車種変更の際は、ハイブリッド車等も検討する。	ファシリティ部	車両管理室			

4 環境保全に係る実施組織体制



5 その他（環境保全活動の取り組み等）

- ・STVイントラネットに「省エネルギー行動指針」を掲載し、意識付けを行なう。
- ・『STVの森』にて、ECO活動を推進する。
- ・近隣町内会の「花いっぱい運動」に参加。敷地内の植栽管理も継続的に行ない、緑化帯の維持に努めている。